

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人はなのいえ		
○保護者評価実施期間	R6年 10月 1日		R6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日		R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・視覚支援の充実	・日々のスケジュールや時間を絵カード等用いて視覚化し、一人で確認して次の行動にうつることができるよう工夫している。	・現在使用している視覚支援でも理解が難しい利用者に向けて、よりわかりやすい視覚支援の作成を進めていきたい。
2	・室内だけでなく、屋外での活動等多く取り入れて様々な事を体験できるよう取り組んでいる。	・農園活動や買い物等の活動に加え、自分の将来を考えるきっかけとなるよう、法人内の事業を活用した職業体験等課外活動を積極的にいきます。	・様々な活動を通して、興味の幅を広げられるよう活動設定の工夫していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・情報発信	・現在、SNS等の情報発信ツールを使用していない。	・SNSの活用を進めていきたい。
2	・支援室の環境整備・設定	・通所後、宿題をしたり、おやつを食べたり、自由に過ごされているお子様が同じ空間で過ごしているため集中しづらい環境になってしまう。活動内容によりエリアを分けるが、お友達の楽しそうな声が聞こえる等個人活動に支障が出てしまう。	・クールダウンや体調不良時等個別のスペースが必要な場合はパーティションで仕切りプライバシーを守るようにしている。集中して活動できる環境作りや落ち着いた空間になるようしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 NPO法人はなのいえ

R7年2月15日

利用児童数23人

R7年2月1日現在

回収数 13人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	5	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3	1	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	3	1	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	3	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	1	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	1	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2	0	2		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	1	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2	1	2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	1	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	4	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1	2	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	5	2	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	6	3		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	2	1	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	3	2	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	2	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	5	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	2	0	3		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		NPO法人はなのいえ				公表日	
		チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5	高学年になると少し狭く感じるが、ケガや事故につながるような配慮し、部屋分けをする等対応をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	シフトの段階で3人～5人体制で組んでいます。通常時は適切な人員配置ができていますが、インフルエンザ等で職員が少ない時は、法人内、他事業所から応援に来てもらう等対応しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	一日のスケジュールをホワイトボードを用いて視覚化、室内の動線等を構造化しています。建物構造上、完全なバリアフリー化はできていないがトイレや玄関等設置可能なところは手すりを設置しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	日頃から定期清掃や、使った道具やおもちゃは、アルコール消毒を行い、清潔な空間を維持するよう務めています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個室がないためパーティションで仕切っています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	日々の中で行動面・情緒面で気になる利用児については都度話し、職員全員に情報共有しています。振り返りの時間は毎日の朝礼や月1回定例会議の中で行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者向け評価を配布してアンケートを取っており、評価欄の記入はあるものの、意見欄の記入は少ないです。貴重な意見や意向を大切に改善点等話し合い業務改善に努め、ホームページに記載し公表を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	日々の業務を効率化するため、毎日の朝礼以外に週1回ミーティングを設けています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	第三者による部外評価は行っていません。今後必要に応じて検討していきます。	今後、必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	研修を受講する機会があるものの、業務等都合によって受講できないのが現状のため、職員の専門性向上に向けて仕組みを整えています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ガイドラインの発達の5領域に合わせ作成し、ホームページに記載し公表をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	本人や保護者の希望・ニーズ・現状の課題を職員間で話し合い、支援計画を作成しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	児童発達支援管理者と、担当職員、送迎職員等の共通理解のもと子どもの発達に合わせた話し合いが行われています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	毎日朝礼、終礼で情報共有を行い、支援計画を確認の上、支援を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	子ども本来の状態を把握するため、フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを組み合わせて使用しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ガイドラインを基にケース会議等で話し合い、優先順位をつけ、具体的な支援内容を設定しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	担当職員が主体となり立案しているが、全員で活動プログラムの共有や立案をすることもあります。立てたプログラムは全員で共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	子どもの発達や課題に合わせ様々な活動プログラムを提供しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別対応や集団での支援等個々の状態に合わせて支援ができるよう努めています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	前回利用時の様子や配慮事項、当日の支援についての役割り分担等毎日朝礼、終礼を行い情報共有をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後、当日の様子を振り返り、次回の支援につながるよう記録を残しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2	保護者に捺印を頂く書面に記録をとるとともにサービス提供記録を残しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	最低6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、適切な支援計画の見直しを必要に応じて行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1	報酬改定前より、「4つの基本活動」を複数組み合わせを行った支援しています。引き続き、支援の充実を図ります。	引き続き、支援の充実を図ります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもの意思を尊重し、自主性が育まれるよう支援を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者と子供の状況を把握している者が出席しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	必要に応じて適宜連携をとっています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	必要に応じて適宜連携をとっています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	必要に応じて適宜連携をとっています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	放課後等デイサービスを卒業し、障害福祉サービスを移行する場合、引き継ぎ書等提供できる体制は整えています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3	必要に応じて参加できるよう検討していきます。	今後、必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	現状、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する場はないが、必要に応じて検討していきます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5	現状、自立支援協議会等への参加はしていないのが、必要に応じて検討していきます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	3	送迎時、面談、連絡帳、電話にて家庭や学校の様子等を確認し連携を図っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	限られた支援時間の中で、時間の調整も検討が必要であるが、職員のスキルの向上を図り実施できるよう努めていきます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約や変更があった場合、内容について担当者が説明を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	子どもの気持ちや意思を尊重し、保護者の意向・ニーズを踏まえて、適切な個別支援計画を作成しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画の内容を担当者が責任を持って説明し同意を得ています。	引き続き、支援の充実を図ります。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じ面談の時間を設けています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5	保護者会やきょうだい児の交流の機会はありますが、法人内の年3回イベントで交流を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情などの申し入れがあった場合は、職員同士で共有し迅速に対応しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的にお便り等で行事予定や出欠の連絡等を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	PC等からの個人情報へのアクセスはパスワードを設定しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもの特性に応じてカードを用いたり、声のトーンや速さを変える等の配慮をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	感染症の観点から現在は地域交流の行事を控えています。	引き続き、支援の充実を図ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しています。職員へは研修等を通じて、保護者様へは室内スペースでの提示によって周知を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的な避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際、迅速に対応できるように取り組んでいる。実施時は写真や実地記録を残しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	現在、医師からの指示書が必要な児童はいませんので、フェイスシートやシールを用いて把握しています。変更があった際は職員に伝えていきます。	引き続き、支援の充実を図ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	フェイスシートやシールを用いて把握しています。変更があった際は職員に伝えていきます。アレルギー症状がある児童については、保護者と密に連絡を取り合っており対応しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携をとり、必要な措置を講じています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	安全計画は、新たな年度が始まる前には内容を見直し、毎年チェックを入れて必要であれば変更しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事例発生時にはその都度記録を残し、再発防止策の対策を話し合い実践しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を実施し、適切な対応方法を学んでいます。	引き続き、支援の充実を図ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	契約時にどのような場合に身体拘束を行うかは保護者に説明し、対象者がいる場合は個別支援計画書に記載しています。	引き続き、支援の充実を図ります。	